

第 8 回西新宿地区再整備検討委員会の主な意見と対応

●都市空間

No	意見	発言者	対応
1	公開空地の段差の解消などバリアフリーを実現してほしい。	池邊委員	地区内のバリアフリー化に向けて、立体結節空間の検討を深度化していくとともに、街区において公開空地と道路のバリアフリー動線の拡充を誘導していく。
2	花や優しい色の緑などを導入し、加えて段差を解消することで、その結果として賑わいに結び付くという考え方を意識して欲しい。	池邊委員	「都庁周辺の空間再編計画(素案)」において、4号街路沿いは都民広場へ迎え入れるスロープを設置するとともに、高低差を利用した賑わいや緑と連続した一体的なスペースを整備することとしている。なお、樹種等については今後検討していく。

●都市基盤

No	意見	発言者	対応
3	歩車共存道路の場合、「バスの速度が低下する可能性がある」とあるが、必ず徐行で通行することになるのでは。長い区間になるので検討・協議いただきたい。	小嶋委員	歩車共存道路時の運行速度等については、引き続き関係者と協議を進めていく。
4	モビリティポートは歩行者との輻輳にも繋がる可能性があるので、配置計画の検討が重要である。	国土交通省 都市局 街路事業調整官	モビリティポートの配置計画については、都市基盤検討部会で検討を進めていく。
5	西新宿では大型バスを多く見かける。ウォークアブルとは外れるが、西新宿でいかに受け入れていくかという観点も重要である。	東京都 建設局 道路保全担当部長	大型バス対策については、引き続き関係者と協議を進めていく。
6	観光バスが多い印象だが、駐車場については都庁周辺のみならず、民間街区の駐車場も一度確認するべき。	岸井会長	西新宿地区において、民間街区の駐車場も含めて確認したが、現状、10号街路高架下の都庁大型車駐車場の代替となる駐車場はなく、西新宿地区における大型バス駐車場の必要性等について、引き続き関係者と協議していく。
7	12号街路で観光バス利用者を乗降させ、まちを眺めながら都庁へアクセスしてもらおうという考え方があっても良いのではないか。	池邊委員	西新宿地区における大型バス駐車場の必要性等について、引き続き関係者と協議していく。
8	11号街路下は明るくしたい。また、4号街路の真ん中を歩道にした場合、少し暗いと感じるため、工夫が必要である。	岸井会長	4号街路のトンネル部については、明るく見通しの良い開放的な通りに再編していくため、都市基盤部会で検討を深度化していく。また、「都庁周辺の空間再編計画(素案)」において、11号街路下は明るい道的空間に再編することとしている。今後、関係者間で調整の上、検討を深度化していく。

●都庁関係

No	意見	発言者	対応
9	ファンモアタイム新宿のイベントにおいて、都民広場の芝生でどの程度気温が低減されたかなどの検証があっても良かったのではないかと。新宿西口エリア全体で気温がどの程度低減できるかを社会実験として行ってほしい。	池邊委員	都民広場の芝生化に関する体験イベントは、都民広場に憩い空間を創出し、利用状況等をモニタリングし都庁周辺の空間再編の検討にフィードバックすることを目的として実施した。 気温低減の検証については、今後のイベントの実施時期や規模などを踏まえ、必要に応じて、関係者と調整していく。
10	建物の内と外がともにリニューアルされることで、企業同士の接点を増やしていくといったことも再整備方針の趣旨であるため、都庁が先導して示されていくと良い。	岸井会長	都庁周辺を多様な人々の交流機会を創出し、滞在を誘発する空間へ再編するため、都が西新宿地区地区全体の空間再編の取組を先導していく。
11	首都の庁舎として、環境に配慮した先進的な質のいい店舗を入れるべき。	池邊委員	導入する店舗については、今後、管理運営の方法などを含め、検討していく。

●その他

No	意見	発言者	対応
12	今後はまちの使い手を育てることが重要となってくるので検討いただけると良い。連携している大学でゼミをしてみるなど、まちづくりに参加しながら自ら場所を使いこなし、連携していける人々が育てられると良い。	伊藤副会長	再整備方針で示したコンセプトの1つの要素である「Everyone(みんなで)」を踏まえながら、産学官民が連携する仕組みづくりや、市民や企業等がまちづくりに参加できる機会や場の創出などについて、検討を進めていく。
13	周辺が大企業だから、東京だから実現できたという風にはならないように、使い手を育てるなど仕掛けづくりにも取り組んでいただけると良い。	国土交通省 都市局 街路事業調整官	
14	ファンモアタイム新宿のようなイベントは各地で行われているが、単発で終わることが多いため、2016年からイベントが続いていることから、いわゆるタクティカルアーバニズムという考えを持ち、継続的に戦略をもって取組が進められると良い。	吉村委員	個別事業の具体化にあたっては、引き続き、イベントの開催など実験的な取組を通じて得られる効果や課題等を踏まえながら検討を進めていく。イベントの開催にあたっては、継続的な戦略をもって実施していくとともに、必要なデータを収集し検証を行っていく。
15	社会実験にあたっては、ビフォーアフターの検証が重要であり、データを活用することで後々の地元の合意形成も図りやすいと考える。 例えば、スマートポール等を使いながらデータを収集してみてもどうか。	吉村委員	
16	地上は空間がありながらも眠っていないが地下には人が流れているアンバランスをどう変えていくかかと思うが、地下は広告で稼ぎ、その分を地上にも還元することができれば良いと感じた。	国土交通省 都市局 都市計画調査室長	デジタルサイネージの活用にあたっては、まちの案内や魅力の発信、災害時の情報発信などコンテンツの検討とあわせて、運用体制などエリアマネジメント組織との係り方などについても検討を進めていく。
17	新宿駅方面・西新宿駅方面から都庁方向にはいくつか地下通路がある中で、4号街路に限らず、全体で広告のマネジメントができると良いと思った。	国土交通省 都市局 都市計画調査室長	
18	非常に多岐にわたる分野で検討されており、実現できる時間軸も様々あるが、10年後と言わず、3年後を目標とするなど、特に西新宿の場合は短期的に実現しなければ、ビルの賃料低下や空室率上昇に間に合わないと考える。ビルの不動産価値が今後さらに下がるとすると、そういった観点が重要。	池邊委員	短期・中期・長期で行うことを整理し、ロードマップを示していく。
19	ロードマップの描き方については、いくつかの期間を区切って指標を定めていくことが重要と考える。	一般社団法人 新宿副都心エリア 環境改善委員会 技術担当理事	
20	全体をどのようにコントロールしていくかが重要と考える。	岸井会長	